

下鴨少年補導委員会
松ヶ崎支部

発行責任者
支部長 北川 憲一

松ヶ崎少年補導だより

転んでも立ち上がれる子らに

京都市立下鴨中学校 校長 山下 和美

平素より下鴨中学校区の児童生徒の健全育成と安全の確保にご尽力いただき、誠にありがとうございます。不審者等の事案はあるものの、問題行動の件数は本当に少なく、落ち着いた学習環境を提供できるのも、皆様のおかげと感謝しております。

勢に大きな変化が見られていません。これからどんな風に進化させてくれるのかと楽しみにしています。

その一つ一つの積み上げから、自分という存在を理解し、将来の道筋が見定められるのではないのでしょうか。

「アメリカインディアンの子育て四訓」をお聞きになったことがあるでしょうか。「乳児期は肌を離さず 幼児期は手を離さず 学童期は目を離さず 思春期は心を離さず」思春期前半の中学生にとって、全く目を離されることへの不安感もあることでしょうか。でも、時には自分を信じて任せてもらいたいと思うときもあることでしょうか。子供たちの心を離さず、その思いに寄り添っていただけると幸いです。

下鴨中学校で長らく続けられて来た月初めの挨拶運動を、今年の四月から休止してしまいました。しゃべりながら迎える生徒会役員。たくさん生徒や先生に迎えられる。運動の意義も効果も感じられなかったからです。それから半年。生徒たちは意識調査をし、リーダー講習会で討議し、そこから出てきた意見をうまく生かして、自分たちの手で新しい挨拶運動をスタートしました。

内閣府の調査では「自分に誇れるものがない」とする子どもは他国に抜きん出て多く、「自分に自信がある」という割合も減少しているという結果が出ています。本校で調査した「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。」「自分には、よいところがあると認めますか。」という項目でも、学年が進むにつれ「当てはまる」割合が減っていく傾向にあります。

今年の松ヶ崎夏祭りでは、多くの中学生が模擬店のお手伝いをさせていただいておりました。家庭科の課題をやり遂げるために来る生徒は、あわただしい運営の中で、足手まといになったことと思います。ただ、それだけのブースで小さな子供たちやお年寄りに対応する生徒は、満面の笑顔と優しさにあふれていました。腰をかがめて相手の言葉を聞こうとする姿勢が、何よりも彼女たちの気持ちを表していたのではないのでしょうか。自分の肌で人との触れ合いを感じることで自分だけがの役に立っているという満足感は、遠い将来に

地域を支える原動力となっていくものと願っています。

「かわいい我が子には辛い思いをさせたくない」誰しもが持つ親心です。しかしながら、生涯つまずかずに人生を送ることは不可能です。多感なこの時期

に多くのことに挑戦し、失敗を乗り越える力をも身につけさせることは、大事な経験です。その中で得た成功体験は、何物にも勝る自信となることでしょう。

今年、松ヶ崎夏祭りでは、多くの中学生が模擬店のお手伝いをさせていただいておりました。家庭科の課題をやり遂げるために来る生徒は、あわただしい運営の中で、足手まといになったことと思います。ただ、それだけのブースで小さな子供たちやお年寄りに対応する生徒は、満面の笑顔と優しさにあふれていました。腰をかがめて相手の言葉を聞こうとする姿勢が、何よりも彼女たちの気持ちを表していたのではないのでしょうか。自分の肌で人との触れ合いを感じることで自分だけがの役に立っているという満足感は、遠い将来に



正田町 S.S. さん

どの子にも 手をぬくもりを さしのべる

秋祭りを子どもが集うイベントに

まつちやきネットワーク会長 山田 勉

今年も新宮神社秋祭りの時期がやってきました。

まつちやきネットワークでは、この祭りで地域の皆様のご支援のもと、神社階段前で焼き鳥やたこ焼き、綿菓子、ジュースなどの出店を運営しております。

これはお神酒札、お神酒券を地域の法人様、個人様に購入して頂き、協賛金を募り、安価に提供するとともに、収益金は最終目的である「神輿を造る」為に積み立てております。

娘二人が「八乙女舞」でお世話になったこともあり、祭りの存在は知っていましたが、五年前……について出店もこなくなりました。子供たちが集わない祭りはあまりにも寂しい、もつと盛り上げようと地域のおやじ達が立ち上がりました。

どうすれば、子供が来て昔のようになにぎわいを取り戻せるのだろうか？ 私は中京区の出身で、祭りと言えば祇園祭でしたので、子供の頃、夏休み前の一

大イベントとして指折り数え楽しみにしておりました。とりわけ出店(夜店)が大好きで、小銭を握りしめ喜々として出かけていきました。やはり出店がなければ盛り上がりません。また小さな子供が小銭で楽しめる値段設定が必須との結論に至りました。

ゲームやインターネットが普及した現在は、地域の祭りに子供がウキウキと指折り数えて待つようなものでは無くなってきたようですが、やはり地域の人と人がふれあい、老若男女が集う地元の祭りこそ、子供の育成には必要なものだと思います。

厳格に伝統を守り受け継ぐことは難しいことではありますが、まずは祭りを見に来てくれることから始まります。「なんか、おっちゃんやらが、出店で安くておいしいもの出している」という評判で、子どもたちが来れば、保護者が来て、おじいちゃん

おばあちゃん、ご兄弟も来るでしょう。そうして自然に人が増えると思います。また、「おっちゃん おまけして」という子どもの要求に「よっしゃおまけするわあ」という出店のおやじ達。私たちは積極的に子どもに話しかけます。このような会話は、無言で購入できるネットショッピング、スーパーやコンビニではありえません。

社会で必要なコミュニケーション能力はひよつとしたらそういう小さい時の体験がきっかけで創られているのかもしれない。将来、祭りのたびに血が騒ぐというような大人になり、この体験をまた次の世代に引き継いでくれればと思います。

今後ともまつちやきネットワークをよろしく願います。

追記…今年十月二十四日(土)が宵宮で夕刻から、二十五日(日)が本祭で朝から十五時ごろまで。神社階段下でお待ちしておりますので、お寄り頂ければ幸いです。

以上

窓

「感激の夏」

中町 岩崎 富和

私の今年の夏は、七月十一日から始まりました。

なぜこの日から始まったのかと言うと、福岡県に野球留学している高校三年生の息子の最後の甲子園出場をかけた地方大会の初観戦の日でした。

おかげさまで甲子園出場を決め、深紅の優勝旗を手にして閉会式の行進をする息子の姿を見ることができ感動いたしました。彼の野球人生の始まりは、小学校時代地元の野球クラブ、みなさまご存知の松ヶ崎シャークスに所属し野球の基礎を学ばせていただき、中学時代は硬式野球クラブで、厳しさを学び、福岡へ送り出しました。

本人の努力もありましたがこれまで支えていただいた方々の応援により、厳しい世界で勝ち抜けたこと、感謝の気持ちを持ちこれからの人生を歩んでいく、欲しいと望んでいます。今、我が家のお仏壇には息子が甲子

園で打ったホームランの記念ボールを飾っています。初盆を迎えた亡き父へのよい供養になったと思っております。

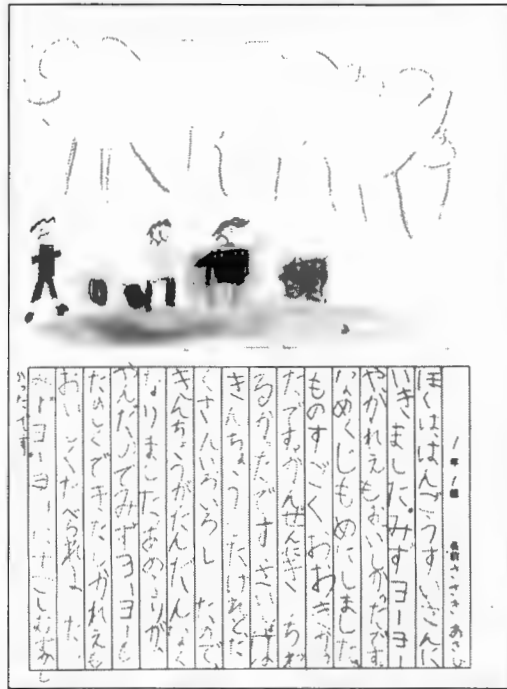
地元の皆様からも熱いご声援をいただいで打ったホームランだと思っております。

ありがとうございます。高校卒業後も野球を続けてまいります。これからも地元の皆様、岩崎 魁人の応援宜しくお願いいたします。





松ヶ崎小学校 1年1組 からしやすこ



松ヶ崎小学校 1年1組 ささきあさひ

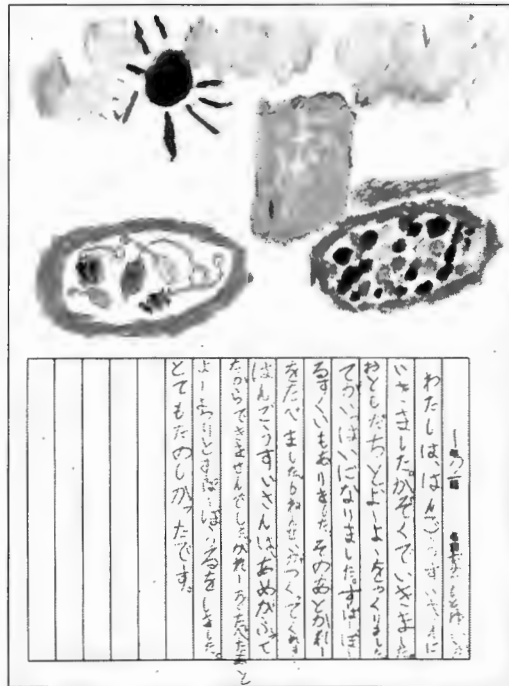
7月18日
飯ごう炊さん

第30回

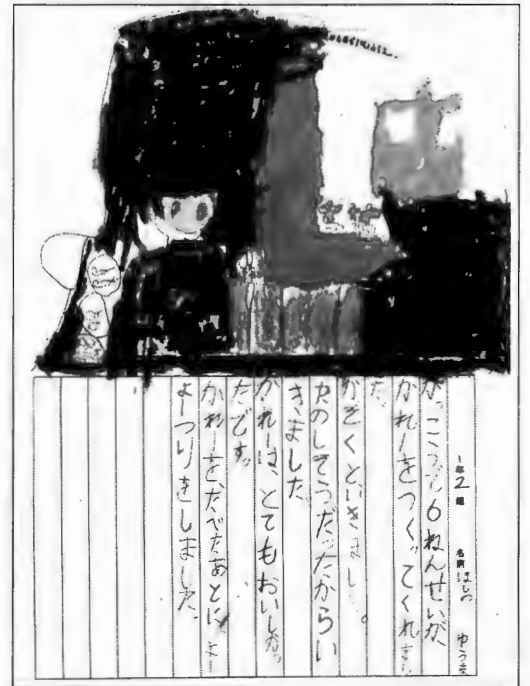
こどもフェスティバルの

お知らせ

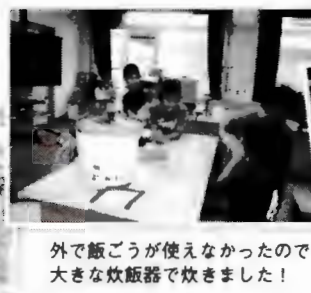
◆ ◆ ◆
 本年も11月3日(文化の日)に実施します。
 多数のご来場をお待ちしています。
 ◆ ◆ ◆



松ヶ崎小学校 1年2組 まつもとゆいか



松ヶ崎小学校 1年2組 ほしのゆうま



当日は避難勧告・避難準備が発令されていたため、裏山での飯ごう炊さんを中止し、安全な中庭でとり行いました。

支部活動 状況報告

前号に引き続き、当支部のその後の活動状況につき、ご報告いたします。

1 四月九日 松ヶ崎少年補導だより第六十号を発刊し、三〇〇部を印刷、市政協力委員さん、隣組長さん方のご協力により、全世帯、関係機関に配布いたしました。

2 四月二十九日 支部三役会
平成二十七年当支部の総会の議案、実施日時、年間行事等について協議いたしました。

3 五月十四日 支部定期総会
平成二十六年決算、監査報告、事業報告、平成二十七年予算案、事業計画案について審議し、満場一致にて決定。

4 六月八日 支部役員会
少年を明るく育てる京都大会、社会を明るくする運動地域集会、飯ごう炊さんの打ち合わせを行いました。

5 六月二十日 第三十七回少年を明るく育てる京都大会
島津アリーナ京都（府立体育館）で行われ、松ヶ崎支部から八名が参加しました。関係各位の講話の後、元気な子供たちの演奏、演舞を観賞しまし

6

七月十一日 第六十五回社会を明るくする運動地域集会
保護司会など関係各団体と共催。京都市聴覚言語障害センター地域第一福祉部長 三ツ谷直子氏の「共に生きる」聴覚障害者の願い」と題した講演を、北川教頭の手話を交えて拝聴しました。

7

七月十八日 飯ごう炊さんとヨーヨーつりの会
あいにくのお天気のため飯ごうは使えませんでした。作り、みんなでカレーを後、ヨーヨーつりを楽しみました。

8

七月十八日 いじめ、非行防止標語選考会
松ヶ崎小学校の先生方のご協力により、五年生、六年生の生徒から応募のあった標語の中から、優秀作品九作品を選びました。

9

七月二十五日 松ヶ崎自

10

治連合会主催の「夏まつり」
模擬店のお手伝いなど、協賛参加しました。

11

九月十三日 松ヶ崎児童館親子まつりのお手伝いをしました。

12

九月十七日 松ヶ崎少年補導だより第六十一号編集委員会
原稿の作成、寄稿原稿の点検、紙面の構成、配置などの作業を行いました。

その他、青色回転灯装着車によるパトロールを随時実施しております。
また、古紙回収を毎月第四金曜日に行っています。皆様のご協力に感謝いたします。以上ご報告申し上げます。
支部長 北川 憲一



平成二十七年 非行防止標語 優秀作品

支部長賞

あなたにも 居場所はあるよ 信じよう
六一岸 結香

小学校長賞

つくろうよ 家族みんなで 話すとき
六一服部 京佳

PTA会長賞

まわり見て 一人のひとは いないかな？
六一田 辺 未 散

佳作

「やめようね」 その一言で すくわれる
六一木 下 七 海

みんなちがう ちがっているから 君なんだ
六一酒 井 涼 太

考える やっていいこと わるいこと
六一蘆 田 東 陽

あいさつを えがおでしょう 思いやり
六一阪 田 彩 心

いじめない それが世界の あたりまえ
六一西 村 綾 花

思いやり 一人一人が 心がけ
六一中 野 開

